

2020年度 中小企業診断士登録養成課程 修了式 祝辞

第2期生の皆様、養成課程の修了、まことにおめでとうございます。今期は、開校当初から、新型コロナウイルス感染拡大によって、講義もオンラインでの受講となり、また皆様同士の親睦もままならないまま、不安いっばいの船出となりました。

あらためて、皆様には受講に際し、様々な点でご不便をおかけすることになったことをお詫びするとともに、修了にたどり着いた勉学に取り組む姿勢に心から敬意を表したいと思います。

新型コロナウイルス感染拡大は、人々の移動を制限し、経済活動に大きな影響を与えています。しばらくの活動停滞は否めないでしょう。しかしながら、社会・経済活動への甚大なインパクトの発生は、既存の枠組みが変化するチャンスと捉えることもできます。この間、私たちが直面したように、オンライン環境が急速に普及したこともそのひとつです。本学でも長年導入が進まなかった遠隔授業の取り組みが一気に進展しました。半ば強制的でありましたが。また、在宅勤務をはじめとしたテレワークを採用する企業も拡大しました。これによりZoomを代表するオンラインコミュニケーションツールを扱うソフトウェア産業の拡大や非接触型ツールの開発、コロナ禍にともなう引きこもり需要の拡大など、業績を伸ばす業種、業態が生まれていることも事実です。

そのようななか、今「レジリエンス」の重要性が再認識されています。レジリエンスは甚大な被害を被った際、そこから復元、復興する力、個人ではストレスを跳ね返す力、といった弾力性、回復力を指しますが、このような危機こそ、コンサルタントである中小企業診断士はクライアントのレジリエンス機能を担い、危機的な状況のなかでも、何が新たに生じ、どのような方向性へと変化しているのかを見極め、クライアントの成長につながる提案をしていく必要があります。皆さんにとっては、企業の資金面に余裕がなく、コンサル需要そのものが減少する面もありますが、企業に多様な面で提案を持ち掛け、実行に移し、成果を上げられるチャンスでもあります。

これに関して、私が大事にしていることはポジティブ思考です。楽
天家というマイナスイメージを持つ方もいるかもしれませんが、ネ
ガティブ思考に陥ることなく、明るい未来を目指して常にチャレンジ
していくことこそが、先に述べたレジリエンスの根幹であると私は考
えております。

コンサルタントの最大の役割は、クライアントに対して希望の灯り
をともしてあげることだと思います。これはリーダーにも当てはまる
ことなので、私も他人ごとではありませんが、こうすれば、ここをこ
う改善すれば、今より必ず良くなりますと自信をもってクライアント
に接し、一緒に希望の灯りを大きな炎にする。そのような診断士に、
ぜひ皆さんがなられることを願っております。

最後に、2期生24名の皆さんは、これから診断士として認定された
のち、お互い良きライバルとして活動していくことになるかと思いま
すが、コロナ禍の大変な中を乗り越えた同期として、戦友として、助
け合い、励まし合いながら、大阪府中小企業診断協会の先生方や本学
教員とともに、中小企業のみならず社会の発展に貢献していくか
れることを期待しております。

以上、甚だ簡単ではございますが、修了にあたってのお祝いのメッ
セージに代えさせていただきます。本日はおめでとうございます。